

6/28

新聞の作り方を学ぶ！

新聞について学ぶ「出前授業」が日南小学校で行われ、5年生の児童が参加しました。この授業では、(株)新日本海新聞社の記者から、新聞の読み方や記事の書き方、取材の基本などを学びました。

この出前授業は、教育に新聞を取り入れる「NIE活動」の一環として、鳥取県内の小・中学校を対象に、新聞に親しみ、物事を考えて判断し、表現する力を養うことを目的に開催されています。

この日の講師は、同社読者センターの記者・三島義之さんが務め、新聞の特徴や読み方、記事の構成、写真のポイントなどを児童たちに説明しました。その後、児童は記事を作る上で欠かせない「5W1H」を学び、記事作りに挑戦しました。

5年生の児童は、12月までに学校新聞を作り、完成したものは日本海新聞に掲載される予定です。



美しいだけがアートではない！？ 抱腹絶倒！ねがみくみこ展

彫刻家・ねがみくみこさんの作品展「ホルモンと情熱のあいだ」が、6月30日から日南町美術館で開催されています。この展覧会はねがみさんにとって初の大規模展で、初期の作品から新作まで約90点の作品が展示されています。

初日にはオープニングセレモニーが行われた後、日南中1年生の生徒たちが美術の授業の一環として展覧会を見学し、ねがみさんから作品の解説などを聞きました。作家から直に話を聞ける機会とあって、生徒たちは熱心にメモを取りながら解説に耳を傾けていました。ねがみさんは、「美術品というと堅苦しいイメージがあるかもしれないが、何も考えなくても感覚的に楽しめる・笑える作品を創りたいと思いながら制作している」と話していました。

この展覧会は、8月20日まで開催中で、8月19日・20日にはワークショップも行われますので、ぜひお越しください。



糖モロ濃し！今年も出荷開始☆

多里地区で農業を営む「星の農園@鳥取つぼくランド」の坪倉裕樹さん(湯河)が、自身が栽培するスイートコーンの出荷開始に先がけ、中村町長を訪問しました。

日南町のふるさと納税の返礼品の中でも、シーズン中は人気ランキングで1位になるなど、つぼくランドのスイートコーンは着実にファンを集めており、「今後はふるさと納税にももっと力を入れていきたい」と坪倉さんは話していました。

つぼくランドのスイートコーンは採れたてのものなら生で味わえるとのこと、中村町長も始めは半信半疑の様子でしたが、食べてみるとその甘さとみずみずしさに驚いていました。坪倉さんは、「採れたての新鮮なものは味が違う。その味をぜひ味わってもらいたい」と話していました。



中村町長からは、「良いものを広く知ってもらい高値で買ってもらうことで、農業者がもっと収益を上げていけるように」との話もあり、若い農業者の将来を考える意見交換も行いました。

つぼくランドのスイートコーンは、以下の場所で7月下旬から8月下旬まで販売しています。

＜販売場所＞

- ・つぼくランド直売所
- ・道の駅にちなん日野川の郷
- ・ホームランド多里
- ・長谷川モーターズ

【問合せ】

LINE ID : @tsuboku\_land  
※電話でのお問い合わせはご遠慮ください。



6/11

全国から鮎釣り名人たちが集う！ 瀬田CUP開催



日南の水を守る会(水谷秀樹会長)が主催する「大西満杯記念第3回日野川鮎釣り選手権瀬田匡志CUP」が生山地内の日野川で開催されました。この日は全国各地から87人の選手が集まり、鮎釣りの腕を競い合いました。大会は予選と決勝が行われ、予選で6匹以上の鮎を釣り上げた上位10人での決勝の結果、広島県の橋上裕二さんが第3回の優勝者となりました。



文化センター野外イベント広場 芝生化に向け着々と

日南町総合文化センター野外イベント広場の芝生化に先がけ、これまでこの広場に敷かれていたレンガをはがして自由に持ち帰ることのできる「レンガ収穫祭」を実施しました。5月17日から6月11日までの間に町内外からたくさんの来場があり、およそ10万個のレンガが収穫されました。これは、面積約2,000平方メートル、重さ約270トンに相当し、広場の約8割のレンガが収穫されました。

緑の広場完成に向け、着々と準備が進んでいます。



6/16

建設業協会から図書購入費のご寄付



日南町建設業協会から日南町に対し、図書購入費のご寄付をいただきました。贈呈式では川田嗣男会長から中村町長に寄付金が手渡されました。

日南町建設業協会は、郷土図書や地域振興に役立つ図書を購入してほしいと、平成8年から毎年図書購入費として寄付をされており、今年も建設業協会のみさんの想いが本を通して届けられます。

6/18

生山大火から70年 防火意識高める

昭和28年の生山大火から70年の節目の年を迎え、生山自治会で防火訓練が行われました。生山自治会長の天崎直幸さんは訓練に先がけて、「改めて防火の意識を高めてもらえれば」と話しました。

訓練では消火器の使い方と消火のしかたを学び、実際に消火器を使って消火を行いました。日南町消防団日野上分団長の佐々木幸喜さんから「燃えている火の根元に消火剤をかけると火が消える。炎が天井に当たる程度になってしまったら消火器では消せない、119番通報を」と指導がありました。



6/19

大きくなあれ！りんご袋掛け体験

阿毘縁にある林富貴代さん(下阿毘縁)のりんご園で、日南小1年生と5年生の児童が合同でりんごの袋掛け体験を行いました。袋掛けは、病害虫からりんごを守り、着色や貯蔵性を良くするために行う作業です。

児童は、最初にまなび宿あびれ(旧阿毘縁小学校校舎)で林さんに説明を受け、その後りんご園に移動し、袋掛けの手ほどきを受けました。児童たちはすぐにコツをつかみ、次々とりんごに袋を掛けていました。



6/21

小学生が役場の仕事を見学



日南小6年生の児童が、社会科の授業の一環として役場の仕事見学を行いました。児童は社会科の授業で政治の仕組みについて学んでおり、今回は地方議会や行政の仕事・役割

を学ぶため、役場を訪れました。

児童は、まず役場の執務室を見学し、役場職員から各課の業務について説明を受けました。その後、町長室や議場など普段は入る機会のない場所を見学し、みんな興味津々の様子でした。